

はじめに

私たちの三島村は、竹島・硫黄島・黒島という三つの島からなり立っています。村の役場は海をへだてて鹿児島市にあります。

これらを結ぶ交通網は、週3回運航される村営船「みしま」しかありません。ですから、自分たちの村について、あまり知らない人が多いように思います。

3年生の社会科では、「自分たちの市や町や村」を中心に勉強することになっています。三島村の自然や人々の暮らし・仕事の様子などを自分の目で観察したり地図や資料などで調べたりします。また、ほかの市や町や村の人々の暮らしや仕事のちがいを調べる勉強もします。「なぜ、そのようになっているのだろうか」「これとあれとは、どのような関係があるのだろうか」というように、問題をもってその意味を考えることがだいじです。

4年生では、わたしたちの村の「人々の健康や安全な暮らし」と、「これからの三島村」についてのことなどを勉強します。

この本は、そのような勉強に役立つようにつくられた社会科副読本です。村内の多くの先生方のご協力と、三島村役場や教育委員会のおせわでできあがりしました。このかたがたに感謝するとともに、みなさんがこの本を使って、三島村のことをよくわかり「いきいきとして明るく豊かな三島村」にするにはどうしたらよいかを考え、「ふるさと三島」を愛する人間に成長されるよう祈ります。

平成16年3月

三島村教育委員会教育長 長深田 悟